



実演を交えての防災講話

若草二丁目町内会（岡博治会長）は11月1日、まちづくりセンターで防災イベント「みんなで炊き出し体験してみよう」を日本赤十字社滋賀県支部の講師2人を迎えて、被災地域で採用のハイゼックス炊飯方法を教わりました。ハイゼックス袋の空気抜きなど初めての作業を全員が笑顔で実施しました。防災グッズの説明など、被災直後の生活に必要な色々な工夫を盛り沢山に解説していました。

防災講話では、滋賀近隣の地震発生周期から、いつ地震が起きたときおかしくな実演を交えての防災講話

被災直後に必要な工夫学ぶ

若草二丁目町内会（岡博治会長）は11月1日、まちづくりセンターで防災イベント「みんなで炊き出し体験してみよう」を開催しました。延べ50人近くが参加しました。

日本赤十字社滋賀県支部の講師2人を迎えて、被災地域で採用のハイゼックス炊飯方法を教わりました。ハイゼックス



水消火器に挑戦する子ども
嶽童介会長（大河原）は10月19日、防災避難訓練を行いました。昨年より参加者も増え、子ども11人を含め39人が参加しました。

地域の清掃や草刈り活動の後、消防車や消防士さんに来て元気な子ども達が火事を知らせる大聲発生練習など、非常時の具体的な行動や優先順位等についても体験し、共助の考えに基づいた情報共有の大切さを学ぶことができました。

子ども達も率先して何度も消火活動を繰り返し練習する等、笑顔のある活気に満ちた積極的な訓練で、「意義のある訓練だった」「次年度以降も開催してほしい」などの声が、多数ありました。

若草一丁目町内会（山口英雄会長）は11月2日、若草一丁目児童遊園で毎年恒例のワシントンファミリーフェスティバルを開催し、約110人が参加しました。写真。

朝まで降っていた雨もやみ、晴天のもと準備を進め、会長のあいさつで始まりました。アンプやスピーカーなど音響機器を借用、BGMを流し、雰囲気も盛り上りました。

若草環境パワー（大橋穂代表）は11月11、18の両日、調整池の草刈りを実施しました。調整池は草が繁茂すると、花粉などで近隣の民家が悩まされましたが、メンバーの協力で何とか終えることができました。

1丁目恒例ワンファミ



若草環境パワー（大橋穂代表）は11月11、18の両日、調整池の草刈りを実施しました。調整池は草が繁茂すると、花粉などで近隣の民家が悩まされましたが、メンバーの協力で何とか終えることができました。

10月25日、アミカホールで行われた草津市青少年育成大会のあいさつ運動啓発作品表彰式で、特選に芝山樹さん（高穂中3年）＝写真右、入選に内藤芽さん（志津南小4年）＝写真左の作品が選ばれました。

あいさつ運動表彰



調整池で作業するメンバー

社会見学ウォーキング

健康推進員連絡協議会（田井和子代表）は11月8日、秋の「はつらつウォーキング」を実施、24人が参加しました。写真。



クリーンセンターでは、ゴミの分別、分別後のゴミ処理の流れ、リサイクルのパネル見学などのコースを回りながら説明を受け、とても勉強になりました。往復約1万歩、全員元気に楽しく帰つてきました。次回も是非ご参加ください。

今日は、環境を考える社会見学を兼ねたウォーキングを計画。軽い体操の後、まちづくりセンターを出発し、木々の紅葉を楽しみながら草津市立クリーンセンターを目指しました。

会場では、ゴミの分別、分別後のゴミ処理の流れ、リサイクルのパネル見学などを楽しみながら草津市立クリーンセンターを目指しました。



クリスマスプレゼントン スズキコージ ブッキング



今月の志津南文庫

不思議で温かく美しいクリスマスの物語です。スズキコージさんの魅力的な挿絵がいっぱいの、ファンタジーの世界を楽しんでみませんか？

ねずみくんのクリスマス なかよしを作上野紀子絵ボブラ社
君型迷宮図 久米絵美里 朝日学生新聞社
今日も、私は生きている。曾野綾子 ポプラ社
心屋仁之助のすり生き方 心屋仁之助 かんき出版
妄想国語辞典 野澤幸司 扶桑社

ねずみくんのクリスマス なかよしを作上野紀子絵ボブラ社
君型迷宮図 久米絵美里 朝日学生新聞社
今日も、私は生きている。曾野綾子 ポプラ社
心屋仁之助のすり生き方 心屋仁之助 かんき出版
妄想国語辞典 野澤幸司 扶桑社

他

一つひとつ思ひ出重ねて

志津南小学校（丹羽浩之校長）の児童達はこの秋も、様々な活動を通して、記憶に残る学びを重ねています。

現地で多くの学び

六年生は、11月6・7日の日程で広島方面へ修学旅行に行きました。

広島市内では、平和記念公園を訪れ、ボランティアガイドの後、広島平和記念資料館を見学

けました。「原爆の子の像」の前で平和セレモニーを行った後、広島平和記念資料館を見学しました。

しました。現地を訪ねることで、多くの学びがあ



しました。耳を澄ませて自然の音を感じたり、木々や草花の匂い、小さな虫の動きを感じ取ったりといったネイチャーゲームを楽しみ、自然の面白さを実感することができました。



夏と違つんだね

一年生は10月28日、生活科「たのしいあき いっぱい」の学習の一環で「若草中央公園」の様々な秋の動植物を観察しました。

張が混じったような様子も見られましたが、帰ってきた時には、満足そうな表情を見せていました。

自然に詳しい方を講師に迎え、一人に一つずつ観察用のルーペを貸していただき、木の葉や草花を観察しました。

夏とは違った様子に児童たちは歓声を上げていました。

耳を澄ませて自然の音を感じたり、木々や草花の匂い、小さな虫の動きを感じ取ったりといったネイチャーゲームを楽しみ、自然の面白さを実感することができました。

今につながる時をとどけて

志津南まちづくりセンターは10月18日、ボランティアガイド野津隆さんを招き教養文化講座第3回「時をつなぐ歴史旅」を行いました。

の声かけのもと、秋の自然を感じる良い学習の場となりました。

志津南まちづくりセンターは10月18日、ボランティアガイド野津隆さんを招き教養文化講座第3回「時をつなぐ歴史旅」を行いました。充実した一日間の経験をこれまでの学校生活に生かしていました。



季節の彩

南天は「難を転ずる」の言葉に繋がる季節として、まさかの「まさかの」となった

この庭先に見かけます。暮れが迫るこの季節、赤い実をつけて一年の締めくくりを知らせます。

鳥たちの助けを借りて、どこにでも根をはる南天は、願いの数だけ力強くあ



緑波くるみこども園（服部登志夫園長）は10月25日、第13回運動会を行いました（写真）。年少はうちわを持って盆踊り、年中はバルーンで団体演技、年長は旗を持って踊りました。親子競技もあり、たくさん笑顔が見られました。



肺炎には要注意

イナミック琉球」など、どれも見どころ満載でした。子ども達は家族に見守られながら、運動会に向けて取り組んできましたことを元気いっぱいに披露、笑顔あふれる運動会でした。

かがやきくじら保育園（谷口真紀園長）は10月19日、隣接の水田公園を借りて運動会を開催しました。

途中、雨による中断で内容の一部変更もありましたが、3歳児の「やんちゃ・怪獣」、4歳児の「アロハダンス」、「5歳児の「ダ

ロン」「なごみ会」（浅野信野謙一代表）は、10月19日、町内会で肺炎についての勉強を行いました。講師はあさの内科クリニックの浅野信行院長。

高齢者の死亡率は肺炎が98%と高く、高齢者は咳や発熱などの症状が出ないことがあるので、体調が悪い時は早めに受診した方が良いこと、誤嚥も一つの原因となるので口の中を清潔にして、首や喉の筋肉を鍛えることの大切との話に、納得しました。



かがやきくじら保育園（谷口真紀園長）は10月19日、隣接の水田公園を借りて運動会を開催しました。

途中、雨による中断で内容の一部変更もありましたが、3歳児の「やんちゃ・怪獣」、4歳児の「アロハダンス」、「5歳児の「ダ



長浜の氏神である長浜八幡宮を訪ねました。宮の例大祭で、曳山博物館で曳山の実物を観賞しました。

北国街道の門前であった大通寺では拝観後、本堂・山門・障壁画等の文化財に触れました。

開催、16人が参加しました。湖北の中心地長浜を訪ねました。バス道中、野津さんから長浜の地名は信長の「長」から名付けたなど興味深い話を伺い、一層知的好奇心が刺激される楽しい現地散策になりました。

志津南学区社会福祉協議会
(河辺達也会長)は10月18日、市社協の支援を受け、まちづくりセンターで女性ワークショップ「笑いヨガ体験」を開催しました。大人33人、子ども7人が参加し、会場内は健康的な笑い声が絶ませんでした。



笑い声の絶えなかった会場

志津南まちづくりセンターやすらぎ学級は10月22日、学級生17人でびわ湖大津館・イングリッシュガーデンへ出かけました。「秋の薔薇を見に行こう」をテーマの館外研修でした。

ハロウィン仕様のガーデンを散策する学級生



子ども並みに笑った一日

講師にくさつ笑いヨガの玉木宏美先生を迎えて、免疫力もアップする「心と身体の健康・笑いヨガ」を体験しました。

ハハハハと息を吐き切って笑う動作をし、最後は「イエイ」と掛け声を出しながら思いつきり伸びをすることで、次第に本物の笑いに。一日に笑う回数は子どもの2~300回に対し、大人は18回。

この日は子ども並みに笑いました。

手作りのお菓子と飲み物で和やかに歓談。市社協から、女性

が孤立しないように支援する「チャーリップ事業」について

話があり、理解を深めました。



在宅医療を知る

▽会期 12月18日(木)~
26日(金)
▽時刻 17時15分~20時
▽場所 志津南まちづくりセンター玄関前付近
夜間、センターは閉館して

学区社協は10月30日、まちづくりセンターで、あおあお在宅クリニックの後藤裕文院長による「在宅医療の現状と取り組みについて」の福祉セミナーを開催しました。約40人が参加。訪問診療の対象者・必要な条件や申込方法、患者が主役になること等を教えていただき、あまり知らないことを具体的に学べました。

朝早くから来られた方々もおられ、室内でコーヒーを楽しんでいました。

志津南学区社会福祉協議会(河辺達也会長)は10月18日、市社協の支援を受け、まちづくりセンターで女性ワークショップ「笑いヨガ体験」を開催しました。大人33人、子ども7人が参加し、会場内は健康的な笑い声が絶ませんでした。

志津南まちづくりセンターやすらぎ学級は10月22日、学級生17人でびわ湖大津館・イングリッシュガーデンへ出かけました。「秋の薔薇を見に行こう」をテーマの館外研修でした。

志津南まちづくりセンターは、若草環境パワー(藤原忍代表)は、年末恒例「しづみにナリエ」を開催します。

志津南アンサンブルパワー(藤原忍代表)は、若草環境パワーの協力で、年末恒例「しづみにナリエ」を開催します。

志津南まちづくりセンターは、11月6日一斉清掃と防災訓練を実施し、職員に加えセンター利用者32人が参加しました。センターをピカピカにした後、南消防署から招いた3人の

消防士に心肺蘇生法およびAEDの取り扱い方を学びました。

人形を使って意識・呼吸確認、心臓マッサージまでの一連の行動を体験。更に、練習用AEDで使用方法を実習しました。

参加者は真剣な眼差しで講習を受け、「有意義だった」「多く

みんなには
社協ですチャリティバザー
にぎわう

店を待つてくださいました。

今回も地域の方々から衣類・タオル・食器・陶器・雑貨等、また手作りコーナーにおしゃれな籠や、アクセサリー類・袋物・帽子等々提供をいただきました。3張りのテントの中は、品物が所狭しと並びました。

「もう少しおまけしてね」「はいどうぞ」など、スタッフと楽しいやり取りも。焼き立てのたこ焼きも好評でした。

室内では買い物を終えた方が、もみじ饅頭を添えたコーヒーで一杯。お話が弾みゆつたりと過ごしていました。

バザーの収益金の一部は草津市社会福祉協議会を通して赤い羽根共同募金に寄付させていただきました。今回も地域の皆様のご支援に感謝申しあげます。

の人に知つてもらうことも大切だ」と話していました。

パソコンの駅

▽パソコンについての相談

1月23日(金)

13時~16時



賑わうバザー会場